

学校だより



# 「みなみっ子」

伊丹市立南小学校  
校長 植松 俊二

## 「6年生が学校を創る」

本校の6年生は今、「6年生が学校を創る」というプロジェクトに取り組んでいます。学年全体、あるいは各学級で、「南小学校がもっと良い学校になるために何が必要か」「そのために自分たちができることは何か」などを考え、仲間と知恵を出し合い協力して、課題に取り組んでいます。

この取り組みは、本校の学校教育目標である「自ら考え認め合い、つながる子」を正に地で行く取り組みです。もちろん、学校は6年生だけで成り立つものではありません。しかし、6年生の一人ひとりが、そういう気持ちを持ち、最高学年として学校を引っ張っていかけていくことに対して、こんなに嬉しく、頼もしく思うことはありません。「自分の学校(クラス)は自分たちで良くしていく」という、主体性は、これからの6年生ひとり一人の人生に大きく役立つことでしょう。今後の6年生のこの活動に期待します。



## あいさつのレベルを上げましょう！

前述しました「6年生が学校を創る」プロジェクトの効果もあり、みなみっ子のあいさつは、ますます積極的になり、本当に素晴らしいと思います。

私が朝、校門に立って「おはようございます」とあいさつをすると「校長先生、おはようございます！」と、どのみなみっ子からも元気なあいさつが返ってきます。

本校は、「つながり」を合い言葉にあらゆる教育活動を行っていますが、「あいさつ」は人と人がつながる上で、最も重要なことの一つでしょう。そのあいさつがしっかりできるみなみっ子の皆さんは、私の自慢です。

そこで、そのあいさつのレベルを上げてみましょうというお話です。あいさつには、出会った時や別れる時の形式的な「おはよう」「こんにちは」「さようなら」や、感謝や頼み事をする時の気持ちを表す「ありがとうございます」「よろしく願います」など、いろいろあります。

これらのあいさつのレベルをどう上げていくかですが、私なりにポイントを整理しましたので、レベルアップの参考にしてください。

【ポイント①】常に自分からあいさつを行う。

【ポイント②】はっきりと相手に伝える。

【ポイント③】気持ちを言葉に込める。



【ポイント④】家族や先生以外でお世話になっている人や見守ってくれている人にも積極的にあいさつする。

【ポイント⑤】あいさつに添える温かい言葉が言える。例えば、「〇〇ちゃん、おはよう。元気？」とか「〇〇君、さようなら。また明日ね。」など。

2学期は、あいさつのレベルを少しでも上げて、みんなですすませたい楽しい良い学校にしましょう。

## 南小学校は、コミュニティスクールです！

コミュニティスクールとは、法律に基づく「学校運営協議会」を設置している学校のことです。学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地教行法第47条の5)に基づいた仕組みです。

### 【学校運営協議会の皆さんの紹介】

宮本 珠代さん	学校運営協議会会長
上田 幸治さん	学校運営協議会副会長
鈴木 優子さん	CS ディレクター
篁 忠夫さん	南小学校地区自治協議会会長
大田 幸蔵さん	土曜学習校区コーディネーター
堀中 俊輔さん	南小学校PTA会長
小中村 政則さん	前南小学校PTA会長
浦山 美樹さん	こぼと保育所所長
細川 照美さん	わかばこども園園長
甲斐 公美子さん	南中学校教頭
近迫 和秀さん	スポーツクラブ 21 みなみ会長
宮谷 富久美さん	少年補導委員理事
木村 由美子さん	民生委員
松村 孝之さん	元稲野町自治会長

(順不同)

学校が抱える様々な課題(学力・体力の向上、いじめ・不登校など)は、学校の取組だけでは解決できません。

課題解決するためには、学校、家庭、地域が目標や課題を共有し、一体となって取り組むことが肝要です。そのためにつながりを作ってくださいの方々です。南小学校は、コミュニティスクールとして、「地域とともにある学校」づくりを目指します。